

**Research Activity Report**  
**Supported by “Leading Graduate Program in Primatology and Wildlife Science”**  
(Please be sure to submit this report after the trip that supported by PWS.)

2018. 6月. 7日	
<b>A f f i l i a t i o n / P o s i t i o n</b>	京都大学大学院理学研究科 / 修士1回
<b>N a m e</b>	余田 修助

<b>1. Country/location of visit</b>
日本 / 屋久島
<b>2. Research project</b>
Advanced training in field biology in Spring
<b>3. Date (departing from/returning to Japan)</b>
2018. 5月. 19日 ~ 2018. 5月. 25日 (6日間)
<b>4. Main host researcher and affiliation</b>
半谷 吾朗 教授, 霊長類研究所, 京都大学
<b>5. Progress and results of your research/activity</b> (You can attach extra pages if needed)
Please insert one or more pictures (to be publicly released). Below each picture, please provide a brief description.
<p>本活動中、自分は屋久島に生息するニホンザルの分布に関する研究に従事していました。</p> <p>今回の活動は、実践的な野外研究の知見を得たり、外国人たちとチームになって活動することによって英語の能力を上達させることを目的としていました。</p> <p>今回の活動を通して、実際に野外で調査を行っている研究者がどのようにデータを集め、データを取り扱っていくのかということについて多くの学びを得ました。 また、今回初めて外国人とチームとなって研究に取り組みましたが、これは将来自分の研究をしたり、チームとして活動する際に大いに役立つ経験となると思われます。</p> <p>今は、今回の調査で得られた結果をまとめている最中です。</p> <p>本活動中に撮影した写真を欄外に図1として添付します。</p>
<b>6. Others</b>

**Research Activity Report**  
**Supported by “Leading Graduate Program in Primatology and Wildlife Science”**  
(Please be sure to submit this report after the trip that supported by PWS.)



図1: 本活動期間で最初に自分が遭遇したニホンザル。